

令和元年6月7日

森林環境教育 伊良原小学校

6月7日、みやこ町立伊良原小学校1年生～6年生9人を対象に森林環境教育を実施しました。現在の伊良原小学校は伊良原ダム建設のため、3年前、新校舎に移転しました。建築家の安藤先生が設計し、みやこ町出身のシンガーソングライター永井龍雲が学園ソングを作詞・作曲したユニークな小中一貫校です。学校は英彦山、鷹ノ巣山の麓にあり、児童の大半が豊津町や行橋市の子どもたちとのこと。学校の教育方針は周囲の自然環境を生かした体験教育、例えば茶摘み、シイタケ栽培などを取り入れ、自然の大切さを教えているとのことでした。

1年生から6年生の児童、どう接したら良いか戸惑いました。それで思いついたのが、昨年完成した伊良原ダムにまつわる水、ダムをテーマにアイスブレイクを実施しました。水やダムはお手のものどころか、一つのヒントでみんなの笑い声が聞こえ、ヒントを出す私たちもつい回答を口に出すありさまで大笑いしました。当日は土砂降りの雨が降ったこともあり、「雨は何処に行くのか」をテーマにし、森は緑のダムであることを伝えて、クラフト作りを開始しました。



子どもたち9人と先生は教頭先生も含め7人がクラフト作りに参加しました。子どもたちも最初は構想を考えてなかったのか戸惑いを見せていましたが、6年生の児童が手がけた大きなスカイツリーのような巨大なものを見て、みんな、自分の構想が決まったのか、台座の上に枝を差し込んだ作品やまっくろくろすけがたくさんいる森をイメージした傑作も出来が始めました。先生方も興味津々で木の実の名前を見たり、ついにはドングリで表札を作ったりして、児童、先生一体となった楽しいクラフト作りとなりました。

最後に教頭先生より、今日のクラフト作りを通して、森林の大切さを少しでも覚えてもらいたいとの話があり、作品を児童、先生、私たちスタッフ2名全員で取り囲んで写真撮影し、終了しました。数名、火傷をしましたが、無事、終了することが出来ました。

(スタッフ：宮本、中村)

